

我がまちが誇る遺跡

南北に細長く起伏に富んだ日本列島には、古くから多様な地域文化が花開き、その一部は現在にも継承されています。それぞれの地域における継続的な調査研究で明らかになった成果をまとめ、個性豊かな遺跡が紡ぎ出す「地域の歴史の魅力」をわかりやすく紹介します。

A いどじり 井戸尻遺跡群 — おらあとう(おれたち)の考古学と遺跡の保護 —

長野県 富士見町
井戸尻遺跡／曾利遺跡／九兵衛尾根遺跡／藤内遺跡／向原遺跡／坂平遺跡／大花遺跡／広原遺跡

住民自らが発掘を行い、自らの手で守り続けてきたハケ岳西南麓の縄文遺跡。長年にわたる調査研究成果と、先人たちの志を守り伝える取組について豊富な出土品を通じて紹介します。

B くげ つな きょうと ぶんか 公家が繋いだ京都の文化

京都府 京都市
公家町遺跡

江戸時代、京都の公家たちが暮らした公家町。継続的な発掘調査から、新たな知見が積み重ねられています。文献にも残る公家衆の生活を、最新の発掘調査成果から描き出します。

C いわせせんづか きし 岩橋千塚古墳群と紀氏の遺跡 — 石室と埴輪が織り成す紀伊の古墳文化 —

和歌山県
特別史跡岩橋千塚古墳群／鳴滝遺跡／木ノ本古墳群／大谷古墳／西庄遺跡／平井遺跡／秋月遺跡／楠見遺跡

古墳時代の紀の川沿岸には多くの集落と古墳がつくられました。紀の川の南北両岸に展開した地域色豊かな古墳の埋葬施設と埴輪の特色を通じ、古代豪族紀氏の実像に迫ります。



新発見考古速報

日本列島では毎年約8,000件の発掘調査が行われています。このうち、近年発掘された遺跡や、成果がまとまった注目の14遺跡約360点を速報展示します。

旧石器時代

1 稚児野遺跡 (京都府 福知山市)
石を割る 広場囲んで ひたすらに
後期旧石器時代前半
約3万6000年前

縄文時代

2 史跡 取掛西貝塚 (千葉県 船橋市)
定住だ コクゾウムシと シカ、タヌキ
縄文時代早期前葉～前期前半
約1万～6000年前

3 宿戸遺跡 (岩手県 洋野町)
斧斧斧斧 海を眺めて コツコツと
縄文時代早期中葉～前期初頭
約9500～6000年前

弥生時代

4 東小田峯遺跡 (福岡県 筑前町)
内陸の クニに伝わる 最先端
弥生時代前期～中期
約2400～2000年前

5 中尾遺跡 (鳥取県 倉吉市)
鉄矛と 鉄斧がムラに やってきた
弥生時代中期後葉
約2000年前

古墳時代

6 猪ノ鼻(1)遺跡 (青森県 七戸町)
北の地に はるばる来たか 古墳人?
古墳時代前期
3世紀後半～4世紀

7 両迫間日渡遺跡 (熊本県 玉名市)
巨樹の下 祈りを込めた 石並べ
古墳時代中期
4世紀末～5世紀末

8 金井下新田遺跡 (群馬県 渋川市)
榛名山 馬飼いの子ら たわむれて
古墳時代後期
6世紀初頭

古 代

9 鹿島沢古墳 (青森県 八戸市)
レアな馬具 蝦夷の長が 眠る墓
飛鳥時代
7世紀前葉～中葉

10 尾羽廢寺跡 (静岡県 静岡市)
わからない なんてここから 塔心礎
飛鳥時代～平安時代
7世紀後半～12世紀

11 栢ノ木遺跡 (京都府 井手町)
橋の 力を映す 井手の寺
奈良時代～平安時代
8世紀～9世紀

中 世

12 新宮下本町遺跡 (和歌山県 新宮市)
見つけた 熊野潤す 港町
平安時代末期～室町時代
12世紀末～16世紀前葉

近 代

13 史跡 橋野高炉跡 (岩手県 釜石市)
ニッポンの 近代支えた 鉄の里
江戸時代末期～明治時代中期
1858～1894年

14 史跡 旧新橋停車場跡及び高輪築堤跡 (東京都 港区)
海上に 積み上げられた 知恵と技
明治時代
19世紀後葉

特集 おうちで学び・楽しむ埋蔵文化財

現地に赴いて遺跡や遺物を見る機会が限られたコロナ禍の日々。こうした中で、動画やSNSなどオンラインを用いた新たな情報発信が各地でおこなわれるようになりました。コロナ後にもつながるユニークな取組をパネルで紹介しします。

